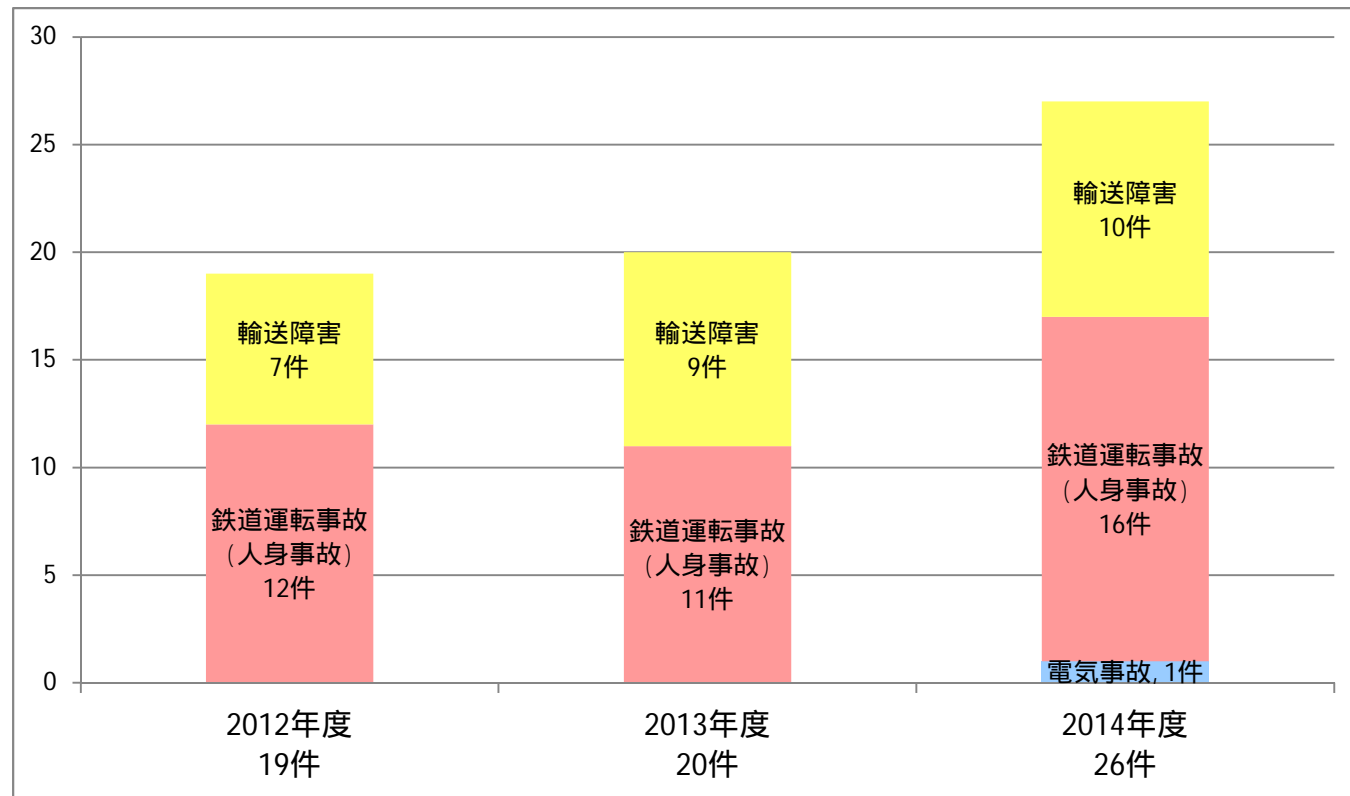


# 鉄道事故等

## 鉄道事故等の発生状況

「鉄道事故等報告規則」により、鉄道運転事故、輸送障害、電気事故、インシデントについて、国土交通省に報告を行っています。

過去3年間の鉄道運転事故、輸送障害、電気事故の発生件数は以下のとおりです。



鉄道運転事故：列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故、鉄道物損事故をいう。

輸送障害：鉄道による輸送に障害を生じた事態で、鉄道運転事故以外のものをいう。  
(30分以上遅延を生じたもの)

電気事故：感電死傷事故、電気火災事故、感電外死傷事故、供給支障事故をいう。

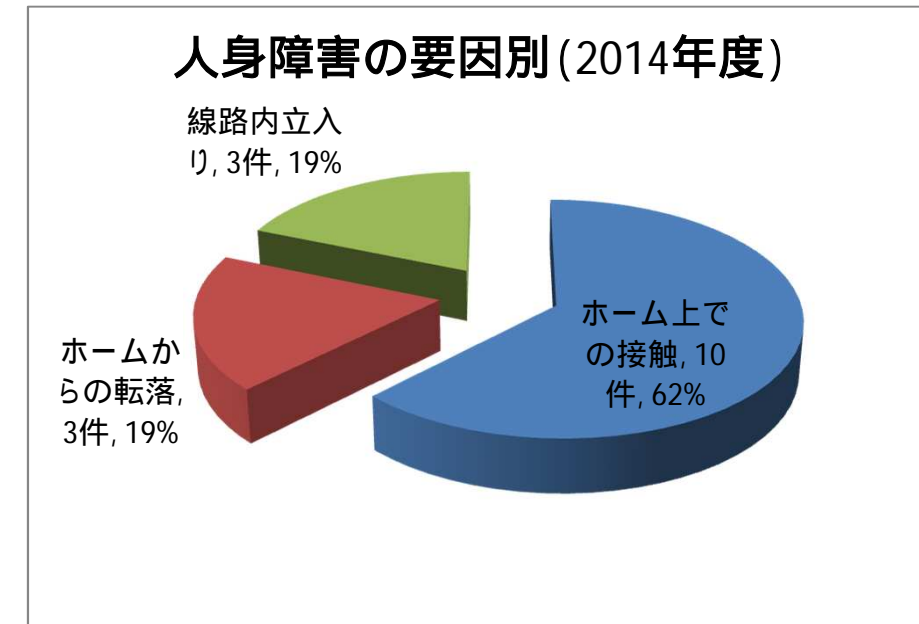
インシデント：鉄道事故等が発生するおそれがあると認められる事態をいう。

## 鉄道運転事故

2014年度においては、ホーム上での列車との接触10件、ホームからの転落3件、線路内立入3件による鉄道人身障害事故計16件が発生しました。

ホーム上での接触やホームからの転落では、飲酒やスマートフォンを操作中のお客さまがおられます。

お客さまへの注意喚起のポスターの掲示や、可動式ホーム柵の設置などの様々な対策を立て、事故の防止に努めてまいります。



## 輸送障害

2014年度においては、鉄道外4件、車両の故障3件、電気施設2件、鉄道係員1件による輸送障害計10件が発生しました。

引き続き、保守管理を確実に実施し、設備の故障等の減少に努めるとともに、再発防止対策の徹底を図ってまいります。

